

# 令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

文化芸術課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立文化芸術ホール（上野学園ホール）		
所在地	広島市中区白島北町 19-1		
設置目的	県民の文化芸術を鑑賞する機会を提供し、文化芸術の振興を図る。		
施設・設備	ホール（1,730席）、リハーサル室（3室）、スタジオ・オーディオルーム、録画編集室（2室）、音楽室（2室）、会議室（5室）、レストラン		
指定管理者	5期目	R3.4.1～R8.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	4期目	H28.4.1～R3.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	RCCホールマネジメントグループ
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	共立・合人社共同事業体
	1期目	H19.4.1～H20.3.31	（財）ゆうちょ財団

## 2 施設利用状況

利用状況	年度		目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	5期	R7		260,000人	302,675人	△7,530人	42,675人
R6			310,000人	310,205人	104,343人	205人	(100.1%)
R5			255,000人	205,862人	△54,100人	△49,138人	(80.7%)
R4			330,000人	259,962人	144,006人	△70,038人	(78.8%)
R3			245,000人	115,956人	△97,455人	△129,044人	(47.3%)
4期平均	H28～R2		224,964人	213,411人	△15,754人	△11,553人	(94.9%)
3期平均	H23～H27		258,000人	229,165人	△31,541人	△28,835人	(88.8%)
2期平均	H20～H22		320,000人	260,706人	23,244人	△59,294人	(81.5%)
1期	H19		320,000人	237,462人	—	△82,538人	(74.2%)
増減理由	劇団四季のロングラン公演がなかったため、前年度比で入場者数は減少したものの、同日2回公演や、満席となる公演が増加傾向にあり、目標値を越える入場者数となった。						

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象】</b>
	利用者アンケートの実施 貸室利用アンケートの実施	ホール自主事業イベント来場者 貸室初回利用者
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	夏祭りの飲食を増やしてほしい。  駐車場を増やしてほしい。	令和8年度以降の開催において検討する。  施設には駐車場がないため、近隣の駐車場案内をホームページに掲載している。

## 4 県の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	月次業務報告書
	日報（必要随時）	—	
管理運営会議 （随時実施）	<b>【特記事項等】</b> 施設・設備の老朽化 <b>【指定管理者の意見】</b> 前回の舞台大規模修繕工事から30年以上経過しており、老朽化が進んでいるため、計画的な修繕工事に取り組む必要がある。 <b>【県の対応】</b> 中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手する。		
現地調査 （3月に実施）			

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	5期	R7	7,827		246	料金 収入 (決算額)	5期	R7
R6			7,581	△1,185	R6	173,464			90,972
R5			8,766	△14,145	R5	82,492			△67,379
R4			22,911	△29,502	R4	149,871			75,333
R3			52,413	33,942	R3	74,538			△10,215
4期平均		H28～R2	18,471	18,471	4期平均	H28～R2		84,753	△30,222
3期平均		H23～H27	—	—	3期平均	H23～H27		114,975	△5,370
2期平均		H20～H22	—	△26,704	2期平均	H20～H22		120,345	20,004
1期	H19	26,704	—	1期	H19	100,341	—		

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	7,827	7,581	246	物価等高騰に係る委託料の増
		料金収入(※1)	116,502	173,464	△56,962	ホール等利用者の減
		その他収入	48,792	62,091	△13,299	利用料金減免負担金の減
		計(A)	173,121	243,136	△70,015	
	支出	人件費	32,031	32,031	0	
		光熱水費	45,344	50,451	△5,107	ホール等利用者の減
		設備等保守点検費	25,652	26,998	△1,346	設備保守点検委託費の減
		清掃・警備費等	16,448	23,508	△7,060	ホール等利用者の減
		施設維持修繕費	7,482	34,529	△27,047	館内修繕箇所数の減
		事務局費	14,367	38,985	△24,618	物品購入費の減
		その他	31,641	28,210	3,431	舞台技術員費の増
	計(B)	172,965	234,712	△61,747		
	収支①(A-B)		156	8,424	△8,268	
	自主事業 (※2)	収入(C)	13,160	10,962	2,198	自主事業の増に伴う収入・支出の増
支出(D)		13,660	9,546	4,114		
収支②(C-D)		△500	1,416	△1,916		
合計収支(①+②)		△344	9,840	△10,184		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	県民が文化芸術に触れる機会を提供できるよう施設の安定運営に努めた。友の会発足、SNS等による情報発信により、ホールをより身近に感じていただくよう努めた。	友の会発足や、SNS等による情報発信など、ホールをより身近に感じてもらうための取組を実施しており、文化芸術を鑑賞する機会の創出を図っている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	産直市、カルチャー教室、夏祭りなどの継続実施に加え、新たにホールでのピアノ試奏会を実施した。	夏祭りなどの継続的な事業に加え、新たなイベントにも取り組んでいるほか、2階喫茶の利用も再開するなど、利用者のニーズを的確に汲み取り、サービスの向上及び利用促進に取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	休止していた2階喫茶の利用を再開し、ホールイベント来場者の開場前の休憩場所としての利用促進を行った。	
	○施設の維持管理	施設利用に影響が生じないように、老朽化した設備の維持管理に努め、保守対応を実施した。	適時適切に必要な施設修繕等の対応を行い、施設利用に支障が生じないように運営している。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し ○効率的な業務運営	引き続き、館長と副館長が交代勤務で駐在し、緊急対応が可能な体制で運営するとともに、ホールでのピアノ試奏会等の新規事業に対応するため、事務局内の業務分担を見直し、効率的な運営に努めた。	組織体制や業務分担の見直しを図り、施設の安定運営に努めている。
	○収支の適正	利用状況に応じた施設の管理運営を行い、収支の改善に努めた。	前年度比で入場者数は減少したものの、収支改善に向けて適切に対応している。
総括		利用促進に向けて新規イベントを実施するとともに、サービス向上のため、2階喫茶を利用再開するなど、施設の安定運営に努めた。また、施設利用に影響が生じないように、迅速に設備の保守対応を実施した。	新規イベントの実施や2階喫茶の利用再開等により、利用促進及びサービス向上に取り組んでいる。また、適時適切な施設修繕等を行い、施設の安定運営に努めている。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	施設の安定運営を目指して保守管理を行うとともに、引き続き、施設の利用促進及び収支の適正化に取り組む。	今後も指定管理者と随時情報を共有し、施設の安定運営に向けた応急修繕工事等の対応や施設の利用促進に繋がる検討を行う。
中期的な対応	設備の更新工事を的確に進め、県と連携して計画的な大規模修繕等の検討を行うとともに、引き続き、施設の利用促進を図る。	指定管理者と連携して、中長期的な観点から、計画的な修繕工事に着手し、施設の利用促進を図る。